

コメント

1 インフルエンザ

定点当たり14.22人と、前週と比べて減少しましたが、注意報レベル(定点当たり10人)を上回っており、引き続き注意が必要です。また、インフルエンザ様疾患による学級閉鎖は6件の報告がありました。手洗いの励行、咳エチケット、換気など、感染予防対策を徹底しましょう。

迅速診断キット検査結果(市内2か所の協力医療機関による)
第3週 A型: 153人、B型: 0人

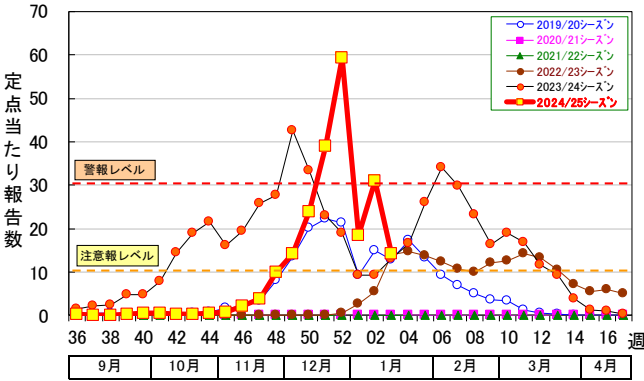
2 新型コロナウイルス感染症(COVID-19)

定点当たり2.42人の報告がありました。手洗い、換気、マスク着用推奨場面(医療機関や高齢者施設等の訪問時)でのマスク着用など、感染予防対策を徹底しましょう。

3 感染性胃腸炎

定点当たり5.39人の報告があり、多い状況が続いています。例年、冬季はノロウイルスなどによる感染性胃腸炎が増加するため、注意が必要です。(次ページ参照)

インフルエンザの流行状況(広島市)



定点把握感染症報告状況(週報対象)

定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均（注） 過去5年間	発生記号	定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均（注） 過去5年間	発生記号
インフル	インフルエンザ	512	14.22	8.01	↓	小児科	ヘルパンギーナ	-	-	0.09	
	新型コロナウイルス（COVID-19）	87	2.42		↗		流行性耳下腺炎	1	0.04	0.03	
小児科	RSウイルス感染症	3	0.13	0.10		眼科	急性出血性結膜炎	-	-	0.03	
	咽頭結膜熱	2	0.09	0.56			流行性角結膜炎	8	1.00	0.50	↓
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	22	0.96	1.04	↗	基幹	細菌性髄膜炎	-	-	0.03	
	感染性胃腸炎	124	5.39	7.44	↗		無菌性髄膜炎	-	-	-	
	水痘	1	0.04	0.15			マイコプラズマ肺炎	13	2.17	-	
	手足口病	4	0.17	0.22			クラミジア肺炎（オウム病を除く）	-	-	-	
	伝染性紅斑	1	0.04	0.13			感染性胃腸炎（ロタウイルス）	-	-	-	
	突発性発しん	4	0.17	0.29							

急増減	↑	↓	前週と比較しておおむね1:2以上の増減
増減	↗	↘	前週と比較しておおむね1:1.5～2の増減
微増減	↖	↙	前週と比較しておおむね1:1.1～1.5の増減
横ばい	→		ほとんど増減なし

報告数が少数の場合などは、発生記号を記載していません。

インフルエンザ/COVID-19定点数（小児科定点を含む）	36
小児科定点数	23
眼科定点数	8
基幹定点数	6

（注）過去5年間の同時期平均（定点当たり）

全数把握感染症報告状況

類型	疾患名	報告数	累計	備考
2	結核	2	4	20歳代・推定感染地域: 国外、70歳代
5	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	1	1	80歳代
5	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1	3	60歳代
5	侵襲性肺炎球菌感染症	2	3	70歳代、80歳代
5	播種性クリプトコックス症	1	1	20歳代
5	百日咳	2	5	10歳未満、10歳代

■ 定点把握感染症報告状況(週報対象)の推移

		インフルエンザ	(C O V I D - 1 9) 新型コロナウイルス感染症	R S ウイルス	咽頭結膜熱	A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎	(ロタウイルス)	感染性胃腸炎
報告数	広島市	第51週	1,408	66	5	11	44	128	21	2	4	-	1	-	9	-	-	31	-	-	-
		第52週	2,138	125	4	8	32	149	7	1	4	-	1	-	5	-	-	34	-	-	-
		第1週	444	53	1	2	2	6	2	3	1	-	-	-	1	-	-	31	-	-	-
		第2週	1,113	123	5	9	23	136	8	2	4	5	-	1	16	-	-	14	-	-	-
定点当たり	広島市	第51週	39.11	1.83	0.22	0.48	1.91	5.57	0.91	0.09	0.17	-	0.04	-	1.13	-	-	5.17	-	-	-
		第52週	59.39	3.47	0.17	0.35	1.39	6.48	0.30	0.04	0.17	-	0.04	-	0.63	-	-	5.67	-	-	-
		第1週	18.50	2.21	0.07	0.14	0.14	0.43	0.14	0.21	0.07	-	-	-	0.33	-	-	5.17	-	-	-
		第2週	30.92	3.42	0.22	0.39	1.00	5.91	0.35	0.09	0.17	0.22	-	0.13	2.00	-	-	2.33	-	-	-
全国		第3週	14.22	2.42	0.13	0.09	0.96	5.39	0.04	0.17	0.04	-	0.04	-	1.00	-	-	2.17	-	-	-
		第1週	33.85	5.32	0.17	0.12	0.61	1.09	0.14	0.09	0.16	0.05	-	0.01	0.02	0.02	0.01	0.76	-	0.03	-
		第2週	35.02	7.08	0.34	0.31	1.73	4.13	0.35	0.16	0.94	0.20	0.01	0.03	0.07	1.12	0.02	0.03	1.11	-	0.01

■ 新たに判明した病原体検出状況

(検査: 広島市衛生研究所)

診断名	主症状	年齢	発症年月日	検査材料	検出病原体
流行性角結膜炎	結膜充血 眼脂 掻痒感	39	2024/11/29	結膜擦過物	アデノウイルス54型
その他の神経系疾患	発熱(39.3℃) 気管支炎 麻痺	2	2024/11/12	咽頭拭い液	ライノウイルス

* 感染症発生動向調査に基づく病原体定点搬入分のみ掲載

ノロウイルスによる感染性胃腸炎に注意しましょう

【予防のポイント】

◆手を洗いましょう

食事や調理の前、トイレの後、吐物やオムツを処理した後など、石けんでしっかり手を洗いましょう。

◆食品は十分に加熱しましょう

特に、ノロウイルスの汚染のおそれのある二枚貝などの食品は、中心部が85℃～90℃で90秒以上の加熱が必要です。

◆調理器具などを消毒しましょう

調理器具などは、洗剤を使用し十分に洗浄した後、次亜塩素酸ナトリウム(＊)または熱湯で消毒しましょう。

◆ふん便・吐物は適切に処理しましょう

患者の便や吐物には大量のウイルスが含まれていますので、処理をするときには手袋やマスクを着用しましょう。換気を行い、次亜塩素酸ナトリウム(＊)を含む消毒液を用いて速やかに処理しましょう。

* 次亜塩素酸ナトリウムを含む家庭用の塩素系漂白剤でも代用できます。「使用上の注意」をよく読んで、適切な濃度に薄めてから使用しましょう。

【参考】感染性胃腸炎(特にノロウイルス)について(厚生労働省)
<https://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou19/norovirus/>



本週報は、速報性を重視していますので、今後調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。なお、感染症情報の詳細についてはホームページでご覧いただけます。
<https://www.city.hiroshima.lg.jp/site/infectious-disease/>



【問い合わせ先】

広島市感染症情報センター/広島市衛生研究所 〒733-8650 広島市西区商工センター四丁目1番2号
TEL (082) 277-6575 FAX (082) 277-5666 E-Mail ei-seikatsu@city.hiroshima.lg.jp

2025年第3週(1月13日～1月19日)